

# 設計・施工・使用上の安全、注意事項

## 1. 表示の区分

表示内容を無視したときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明します。



### 警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

## 2. 表示の内容



### 警告

防火区画の貫通部は、確実に埋め戻してください。

▶ 火災の延焼を防ぐことができません。

パイプと管継手との接続部分の隙間は、目地施工をしてください。

▶ 火災の延焼を防ぐことができません。また、火災時の煙・有害なガスが室内に漏れる場合があります。

火気は絶対に避けてください。

誤ってメジリングが一旦発泡・膨張したケイブラ®継手は使用しないでください。

▶ 火災の延焼を防ぐことができません。また、火災時の煙・有害なガスが室内に漏れる場合があります。



### 注意

パイプの運搬には、内管(塩ビ管)の抜け落ちに注意してください。特に切断後は、内管端部を保持してください。

▶ 傷害を負う恐れがあります。

パイプの切断は、換気のよい場所で行ってください。換気の不十分な場所では防塵マスク等の保護具を着用してください。

▶ 健康を損なう恐れがあります。

内管(塩ビ管)と管継手の接着には、塩ビ管用接着剤[(社)日本水道協会規格]を管継手の受口内面と管端挿入部の外周に均一に塗布し、速やかに受口ストッパーまで挿入して抜け戻りのないよう保持してください。

▶ 漏水します。

掃除口(CO)を開栓した場合は、ゴムパッキンを元の位置に戻し、滑材等を用いて十分に締めなおしてください。

▶ 締め込みが不十分な場合、満水試験等で漏水する場合があります。

塩ビ管用接着剤[(社)日本水道協会規格]には、有機系溶剤が含まれていますので使用時には換気と火気に十分注意してください。

▶ 健康を損なう恐れと火災の原因になる恐れがあります。

目地施工時には、メジ材が直接皮膚にふれないように手袋等の保護具を使用してください。

▶ 手肌が荒れたり、傷を負ったりします。

屋外配管の目地には、ケイ酸ソーダ系のメジ材を使用しないでください。

▶ 水に侵され溶けます。

塩ビ管・継手の廃材は、現場焼却しないでください。

▶ 有害な塩化水素ガス等が発生し健康を損なう恐れがあります。

内管(塩ビ管)には、防虫剤、防腐剤(クレオソート等)及び白アリ駆除剤などが吹きかけたり、塗ったり、流したりしないようにしてください。

▶ 内管(塩ビ管)が侵され漏水する場合があります。

内管(塩ビ管)は、気温や排水温の変化で熱伸縮を起こしますので伸縮継手を設置してください。

▶ 破断し漏水する場合があります。

管は支持・固定してください。

▶ 管が脱落し漏水する場合があります。

管の排水には、連続して60℃以上の温水を流さないよう使用者に周知してください。

▶ 内管(塩ビ管)が変形し漏水する場合があります。

焚火やトーチランプの火、工事照明ランプ等を近づけないでください。

▶ 管継手が軟化変形や炭化する場合があります。

耐熱塩ビ管(HT)は最高使用温度90℃です。それ以上は使用できません。

▶ 漏水する場合があります。

耐熱塩ビ管(HT)は耐熱管用接着剤を使用してください。